

第18回Wリーグ

プレーオフ・セミファイナル 第1戦

会見要旨



シャンソン化粧品 シャンソンVマジック(0勝1敗)

■ チョン・ヘイル ヘッドコーチ

今日の試合のポイントは相手のフォワードラインを止められなかったこと。シャンソンはディフェンスで相手の得点を抑えるだけ抑えて、自分たちの得点を入れるバスケットなのに、今日はやりたいディフェンスが出来なかったことが、今日の試合のポイント。

(出だしの勢いがその後の試合展開に繋がる) チャンスはあったが、シュートは入らなかった。相手は逆に点が入り、流れが変わった。1Qは出来過ぎ、2Qは悪過ぎで極端な結果になった。明日は平均的に点を取りたい。

(トヨタのディフェンスについて) トヨタはディフェンスをしっかりとやっているチームなのでポストも簡単に入れにくい。リーグ戦で出来ていた攻撃が出来なかった。明日は頑張りたい。3番か4番が3Pを入れると流れが変わるし、明日はそれができるようにするしかない。

■ #8 藤吉 佐緒里 選手

1Qは自分たちのプレーができたが、残りのQ(特に2Q)は得点が取れなかった。相手のフォワードを徹底的に抑えようという意識が徹底できていなくて、3ポイントでやられてしまったこと。後は、大事な場面でリバウンドが取れなかったのがこういう結果につながった。

(2Qが2点になった理由について) 一人ひとりの攻める気持ちがなくなってしまって、シュートまでいけなかった。それがこのような結果になってしまった。

第18回Wリーグ

プレーオフ・セミファイナル 第1戦

会見要旨



トヨタ自動車アンテロース(1勝0敗)

■ドナルド・ベック ヘッドコーチ

Wリーグセミファイナルに進出したチームは、それぞれに力のあるチームである。そのようなチームに勝利できたことは満足している。

(明日の修正するポイントについて) シャンソンはとても良いチームなので、明日はワイルドで激しい攻撃をしてくると思う。トヨタとしてシャンソンにどう応えていくか、また、審判のコールにどう対応していくか。シャンソンはエナジーを高めてくると思うのでトヨタもエナジーを持って対応したい。

■#1 大神 雄子 選手

自分たちは去年セミファイナルに出場出来なかったもので、まずは今日この舞台に立つことを全員が喜んでおり、全員で戦おうという気持ちで初戦に臨んだ。2Qではベックさんのスタイルを信じて行ったディフェンスで相手を2点に抑えられたことは自信につながった。このようなバスケットを4Qとも出来るように、エナジーが続くようにならなければならない。

(2Qを2点に抑えたディフェンスについて) 1Qのタイムアウトの時にヘッドコーチからリアクションになっているという指摘があり、自らアクションしようと思い、自分たちのシステムを再構築し遂行したことが2Qのディフェンスに繋がったと思う。

(オフェンスでよかった点は) ディフェンスがよかった分、オフェンスも自分たちのペースが掴め、チームは踏ん切りよく、テンポに乗ってシュートを打てた。

(試合の苦しい場面では) 選手全員が迷いなくシュートを打つことを常に心がけている。チーム全員で今日は誰が行くのかを見極められた。自分たちのシステムを遂行できたと思う。

第18回Wリーグ プレーオフ・セミファイナル 第1戦 会見要旨



デンソーアイリス(0勝1敗)

■小嶋 裕二三 ヘッドコーチ

今日の試合は1Q、3Qの出だしに尽きると思う。JX-ENEOS が攻めてくるのが分かっているのにも関わらず、守り切れなかったこと。我々が浮足立ってしまったまま今日のゲームがスタートしてしまったことがポイント。明日は修正をして試合に臨みたいと思う。

(1Q、3Qの出だしについて) インサイドはデンソーとしても遜色がないので、JX-ENEOS の宮澤選手をどう抑えるかが課題であると考えたが、そこを守り切れなかった。

今シーズンはJX-ENEOS と3回戦っているが、フィールドゴールの差がついていたので、まずはミスがなくすこととディフェンスリバウンドを取ることをテーマにした。その2つは守れたと思うが、その分ディフェンスがルーズになった。

明日はJX-ENEOS のポイントゲッターに簡単にボールを渡さないディフェンスをする、オフenseに関してはインサイドにプラスしてアウトサイドを良い形にしていきたい。

■#8 高田 真希 選手

結果を見て分かる通り、確実に実力の差があった。そのような中でも自分たちにもう少し出来る部分があるのではと思うので、明日はしっかり修正して1点でも多く得点出来るように準備していきたい。

第18回Wリーグ

プレーオフ・セミファイナル 第1戦

会見要旨



JX-ENEOSサンフラワーズ(1勝0敗)

■トム・ホーバス ヘッドコーチ

出だしは凄くよかった。気持ちも最後まで続いた。今日は本当に 40 分間 JX-ENEOS のバスケットが出来たと思う。

JX-ENEOS には色々なディフェンスがあるが、今日の渡嘉敷が高田選手に長い間つくディフェンスはすごくよかった。2次ラウンドからのデンソーは3ポイントの確率が高いので、ウイングの選手にもガードの選手にもプレッシャーをかけさせて、相手を簡単に打たせないディフェンスを行なった。

■#10 渡嘉敷 来夢 選手

今日の試合は緊張していた。でもしっかりと自分のやるべきこと（高田選手をおさえること）ができたので、そこは自分を褒めたい。明日も引き続きディフェンスからしっかりと自分の仕事をすることで、必然的にオフェンスがついてくると思う、まずはしっかりとディフェンスを頑張りたい。

今日の調子には自分でも驚いている。自分はシュートが入らない時はだいたい気持ちの問題なので、今日は気持ちを強く持つことと、いつも言われていることを意識してシュートを打ち続けた。だからと言って明日も確実に入るとは限らないので、外のシュートだけになるのではなく、どんどん中にも行きたいと思う。うまく中と外を使い分けてやりたい。プレーオフに入ってから調子は、まあまあ。まだまだ残りの試合で調子を上げていきたい。

■#52 宮澤 夕貴 選手

自分の役割が分かっていたのでまずはその役割をしっかりとやるということと、トムヘッドコーチも言ったように気持ちを前面に出してプレーするというのが今日の自分の課題で、それが今日は出来てよかったと思う。しかし、前半 23 点取ったものの後半に失速してしまったので、明日は 40 分間できるように頑張りたい。